

# 広報交流協会



稲城市を空より望む

交流協会の紹介	2 ページ
市長挨拶 稲城市市長 高橋勝浩氏	3 ページ
寄稿紹介「稲城市と38回の思い出」	
めまんべつ産業開発公社 専務理事 福田重幸氏	4 ページ
交流協会の設立の歩み	5 ページ
稲城市の姉妹友好都市紹介	6 ページ
理事挨拶	14 ページ
交流協会の事業紹介	21 ページ
今後のイベント紹介とお知らせ	27 ページ



# 1 はじめに

## 稲城姉妹友好都市 交流協会会長挨拶

会長 安東 道正



この度、姉妹都市及び友好都市との相互交流を通して、心豊かな市民生活の向上と地域の活性化に寄与することを目的に、稲城市姉妹友好都市交流協会（以下、「交流協会」）を設立いたしました。

これまで、稲城市では平成3年に北海道大空町（当時北海道女満別町）と姉妹都市となり、平成27年には福島県相馬市、長野県野沢温泉村とそれぞれ友好都市協定が締結されました。また、海外においては、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市との姉妹都市提携が令和3年7月27日に締結されました。

交流協会は、稲城市と姉妹都市、友好都市を結んだそれぞれの市、

町、村にお住まいの子どもから大人まで全世代の皆様、さらには、稲城市内に居住されている約1500名の外国人の方々との交流を通してそれぞれの文化を体験し、参加していただける会を目指しています。

海外、国内、地域における交流に興味のある方、交流協会の活動にご賛同をいただける方はぜひ、正会員、賛助会員になっていただき、今後の交流協会の運営にご支援をいただき、正会員になられた方は積極的に活動にご参加いただきますようお願い申し上げます。

# 2 交流協会の 事業紹介

交流協会では、設立目的を達成するために、次の事業を行います。

- ▼ 交流に関する情報の収集及び発信

- ▼ 交流に関するイベントの企画、実施及び支援
- ▼ 市民団体、官公庁その他の関係団体との協力及び連携
- ▼ その他、協会の目的達成のために必要な事業

また、各事業の実施に向けて、委員会活動を展開しております。

### 【海外交流委員会】

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市との交流事業を企画・実施

### 【国内交流委員会】

北海道大空町、福島県相馬市、長野県野沢温泉村との交流事業を企

画・実施

### 【地域交流委員会】

稲城市在住外国人等、地域で行う交流事業を企画・運営

### 【理事会】

協会の最終決定機関として、委員会から提案された事業や活動内容について承認を行う。  
協会の運営方針の変更・決定を行う。



フォスターシティ市姉妹都市提携 締結式

### 3 市長挨拶

稲城市長 高橋 勝浩

## 稲城市姉妹友好都市交流協会の 1周年に際して

稲城市姉妹友好都市交流協会の  
設立一周年記念に際し、お祝いを  
申し上げます。

令和2年9月27日に本協会が設  
立され、はや一年半を迎えようと  
していますが、この一年を振り返  
りますと、長期間に渡る新型コロ  
ナウイルスの影響により、市民の  
日常生活をはじめとする多くの行  
動が著しく制限されてきました。

市民が自発的に活動に参加し、  
稲城市と姉妹都市、友好都市の交  
流につなげていくことを目的とす  
るこの協会の多くの活動も例外で  
はなく、特に交流の相手先と当市  
の双方が行動制限を余儀なくされ  
る結果となりました。

そのような状況の中にあつて、  
昨年7月27日に行われた本市とア  
メリカ合衆国カリフォルニア州サ  
ンマテオ郡フォスターシティ市

との間で、オンラインによる姉  
妹都市提携締結式を実施できたこ  
とは、両市にとって大変明るい  
ニュースとなりました。

思い起こせば、私自身も平成27  
年8月5日に初めてのフォスター  
シティ市訪問のため、サンフラン  
シスコ空港に降り立ったことが、  
つい昨日のことのように思い出さ  
れます。

翌日は当時フォスターシティ市  
議会議員だったスティーブ岡本さ  
らにご案内をいただきながら、市  
内の公園やラグーン、整然とした  
街並みを視察し、サンフランシス  
コ湾に沈む美しい夕日などを観な  
がら、是非とも稲城の市民の皆  
様にもこの景観をご覧いただき、  
フォスターシティ市の魅力を知っ  
ていただきたいと心から感じたも

のです。

その後も交流協会の前身である  
運営準備会の方たちがフォスター  
シティ市を訪れるなど、着々と準  
備を進め、私が初めて現地に足を  
運んでから約6年の歳月を経て、  
ここに初めて海外都市との姉妹都  
市提携を締結できたことは、実に  
感慨深いものを感じております。

今後は、国内の姉妹都市である  
北海道大空町、友好都市である福  
島県相馬市、長野県野沢温泉村と  
並んで、海外都市であるこのフォ  
スターシティ市との市民交流が活  
発に行われることを切に望んでお  
ります。特定の相手先との交流を  
目的とした交流協会ではなく、包  
括的な交流を目的とした交流協会  
は稲城市独自のものと自負してお  
ります。

今後もし非、行政とは違った市  
民目線の観点から様々な交流を模  
索していただき、姉妹友好都市の  
魅力を稲城市民にお伝えいたたく  
とともに、交流先の自治体の住民  
の皆様にも稲城市の魅力を知って  
いただき、今まで以上に良い良  
交流と相互の持続的発展につな  
がりますことを期して止まないとこ  
ろです。

最後になりますが、日々、姉妹  
友好都市との交流のためにご尽力  
をいただいております安東会長、  
中井副会長をはじめ交流協会の理  
事の皆様、会員の皆様からのお祝  
感謝と敬意を表し、私からのお祝  
いのご挨拶とさせていただきます。



## 4 寄稿紹介

### 稲城市と38回の思い出

一般財団法人

めまんべつ産業開発公社

専務理事 福田 重幸

私と稲城市のお付き合いは平成3年、児童交流事業で当時小学5年生の長男とPTA役員として稲城市立第八小学校を訪問したことから始まります。

当時、私は女満別町役場職員であったことから、スポーツ、文化、産業と様々な分野での交流に参画させて頂き沢山の思い出がありますが、私にとって稲城市を語るには松本一宏氏なしでは語れません。

私と松本氏とのお付き合いは、松本氏が稲城市職員時代の頃にさかのぼります。松本氏には、平成20年に梨販売用の店舗内にアンテナショップほのか稲城店を開設し

て頂き、女満別町時代から今日に至るまで本町のPRや特産品販売まで稲城市とのパイプ役としてご尽力を頂いております。

今回、執筆のお話を頂き、備忘録を紐解いてみましたら、私が今まで稲城市を訪問した回数は通算で38回を数えていました。その間の稲城市との思い出は数多くありますが、特に印象に残っている出来事としては、いなぎ市民まつりが台風で中止になり、大量の販売用農産物の行き場がなくなってしまう、途方に暮れたことや、よさこいソーラン祭りに女満別龍舞隊と稲城チームで合同チームを結成して札幌の本選に出場しましたが、本番前日に札幌市で初めて顔合わせと演舞チェックを行ったため、当時龍舞隊の歌い手として参加しておりました私にとっては、本番が上手くいくかどうか心配で、マイクを持つ手が震え、ひや汗が出たことが今でも思い出されます(笑)

また、私の一番の趣味は手打ち



そばですが、師匠は東長沼にある「花子茶屋」の(故)藤田のおじいちゃんです。藤田のおじいちゃんには、そば打ちのいろはからそば切りまで、そばが出来上がるまでの工程を丁寧に教えていただきました。そのほか、稲城市の多くの職員の皆さんと懇意にしていたので、こちらから稲城市に伺った際も、稲城市から大空町に職員が来られた時にも、夕食時には必ず盃を酌み交わしながら楽しいひと時を過ごしました。時には夢を語りながら夜更けまで飲み明かしたりすることもありました。



このように、私にとって稲城市はまさしく第二の故郷なのです。姉妹都市提携30周年を迎え、微力ではありましたがその一助として活動させていただいたことを幸いに感じております。今後も稲城市と大空町相互の交流が永遠に続きますことをお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## 5 交流協会 設立への歩み

昭和63年

北海道女満別町出身の元都立高校長の紹介による子どもたちの作品交流が行われる。

平成3年11月

北海道女満別町と姉妹都市提携が結ばれる。

平成7年11月

北海道女満別町と災害時において被災者に対する救護等を実施するための、「災害時相互応援協定」が締結される。

平成18年7月

改めて姉妹都市として北海道大空町との調印が行われる。

平成17年11月

長野県野沢温泉村と「あつまれ稲城っ子！野沢温泉塾」の調印を行い、市立小学校の夏季宿泊体験学習や市立中学校の冬季宿泊体験学習（スキー教室）など教育分野での交流が始められる。

## 稲城市の姉妹友好都市の歴史と 交流協会設立までの経緯を振り返る

平成20年7月

長野県野沢温泉村と「災害時等相互応援協定」が締結される。

平成23年6月

平成23年3月に起きた東日本大震災発生後、稲城市から相馬市への救援支援をきっかけに、相馬市と「災害時等相互応援協定」が締結される。

平成27年4月

「稲城市姉妹友好都市提携検討市民会議」を設置し、相馬市・野沢温泉村との友好都市協定の検討が始められる。

平成27年8月18日

福島県相馬市と友好都市協定が結ばれる。

平成27年11月17日

長野県野沢温泉村と友好都市協定が結ばれる。

平成29年1月

平成27年10月に設置された「稲城市海外姉妹都市提携検討市民会

議」及び平成28年6月に設置された「稲城市海外姉妹都市検討市民会議」での検討の結果を踏まえ、

市民会議の代表委員によるアメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市への現地視察を実施し、海外姉妹都市に相応しい都市であるという旨の提言がなされる。同時に、海外姉妹都市交流及び国内の姉妹都市・友好都市交流を担う、市民が主体となった団体の立ち上げが必要である旨の提言がなされる。

平成31年2月

平成29年9月に設置された「稲城市姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会」において、組織体制や事業内容について検討がなされ、「交流協会の具体的な事業実施・運営は、国内交流委員会・海外交流委員会・地域交流委員会の3つの委員会が相互に連携しながら進めるもの」との提言が提出される。

令和元年7月

設立準備会の委員を中心に「稲城市姉妹友好都市交流協会運営準備会」が設置され、将来的に交流協会の運営を担っていく市民により、設立に向けた具体的な準備として、設立後の運営体制や運営方法などが検討される。

令和2年9月27日

稲城市姉妹友好都市交流協会が設立される。

令和3年7月27日

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市と姉妹都市提携が結ばれる。



令和2年9月27日

稲城市姉妹友好都市交流協会 設立総会

## 6 姉妹友好都市の紹介

### 【北海道大空町】

大空町は、平成18年3月31日、女満別町と東藻琴村が合併して誕生しました。オホーツクの空の玄関女満別空港を擁する四季の自然が豊かな町です。特に「メルヘンの丘」は女満別空港から網走方面に向かう国道39号沿いに位置し、網走湖を望むことができる絶景スポットとして有名です。また、黒澤明監督の「夢」の撮影現場として使われた「朝日ヶ丘公園」は秋に咲く畑一面に広がる黄色い太陽と呼ばれるひまわり畑が有名です。

もこと乳酪館」では、東藻琴地区特産のチーズの販売やバターづくり体験ができることで有名です。

町の大きなイベントとしては、5月から6月にかけて行われる

「ひがしもこと芝桜祭」、女満別湖畔でポートルースが繰り広げられる「めまんべつ観光夏まつり」、

牧草ロール500kgを男4人1チーム、女5人1チームで転がして競う「ノンキールランドふるさとまつり」などが有名です。また、夏の

風物詩として網走湖、女満別湖畔ではキャンプ場前の浜で「しじみ採り」を楽しめます。指定の袋を購入し、その袋にしじみを詰め放題できるというシステムです。

主幹産業は農業で、麦類、じゃがいも、甜菜（グラニュー糖の原料）、豆類、野菜で、その他には日本最東端の米など多岐にわたって栽培されています。

大空町の特産品は、トマトジュース・サラダジュース・味噌・わかさぎ佃煮・えんどう豆焼酎「野良美人」・もち米酒「めんこ稲」・チーズ・ヤマベの甘露煮など数多くあります。

大空町という名称は、澄み切った大空、そしてその大空の下に広がる実り豊かな大地のもとで、住民が夢や希望を持ち、晴れ晴れとした気持ちで暮らしていくことをめざすために命名されました。

**稲城市の姉妹友好都市は日本国内に3都市、海外に1都市あり、歴史、風景、名産品等それぞれ魅力あふれる街です**

稲城市とは、平成3年11月の旧女満別町との姉妹都市締結以来、児童青少年、芸術、文化、スポーツ、産業、消防団など、幅広い分野での交流を続けてきており、令和3年度は稲城市と大空町の姉妹都市締結30周年を迎え、両自治体の友好関係、協力関係はより一層の進展を続けていきます。



メルヘンの丘（大空町観光協会提供）



**網走湖女満別湖畔**

(大空町観光協会提供)



**藻琴山登山口からの眺望**

(大空町観光協会提供)



大空町観光協会提供



大空町観光協会提供



**ひがしもこと芝桜公園**

(大空町観光協会提供)

大空町は北海道の北東部に位置し、豊かな自然と田園風景が身近です。網走湖や広大な農場の風景は特に有名で、春には芝桜が咲き誇ります。また、稲城市とは物産と通じた交流が盛んで、市民交流も盛んに行われています。

# 大空町と稲城市は 姉妹都市交流30周年

## 交流のはじまり

昭和63年に旧女満別町出身で元都立高校長であった河野全一氏が橋渡しとなり、子どもたちの作品交流をはじめとして、教育分野（児童交流）を中心に進められました。平成3年に姉妹都市提携が結ばれました。その年から、女満別小学校と稲城市立第八小学校の相互訪問事業が始まり、交流が本格的にスタートしました。

その後、女満別町と東藻琴村の合併を経て、平成18年7月に改めて姉妹都市として調印を行いました。女満別町が大空町になってからの姉妹都市交流は16年目となります。

今では、教育分野はもちろん、文化、スポーツ、産業・経済など幅広い分野での交流が行われています。

## 【ホームステイ交流】

毎年夏に稲城の子どもたちが大空町を訪れ、受け入れ家族の家に宿泊して酪農や漁業を体験したり、地域の行事に参加しています。そのお返しに、お正月明けには大空町の子どもが稲城に来て、夏に仲良くなった子の家に宿泊します。受け入れる各家庭では、子どもたちが楽しい時間を過ごせるように、都内観光に連れて行ったり遊びに行ったりするそうです。

## 【町民運動会の参加】

平成27年7月12日、大空町で開催された町民運動会に、交流団チームとして参加しました。

この町民運動会は、大空町の誕生10周年を記念する行事で、大空町

の友好町である熊本県水川町と一緒に参加し、徒競走や玉入れ、綱引きなど、大空町の皆さんと共に汗を流しました。



## 【大空町のじゃがいもが給食に！】

稲城市の「梨」を大空町に送り、大空町からは「じゃがいも」をいただし、それぞれの学校給食で児童生徒に食べてもらう地場産物の交流を行っています。



## 【市民団体との交流】

稲城市芸術文化団体連合会は平成3年から毎年北海道大空町文化団体協議会と交流を重ねています。平成3年は15名で大空町（当時女満別）を訪問しました。以後、毎年交互に訪問をして交流を深めています。

また、よさこい団体の女満別龍舞隊が稲城市龍舞隊のメンバーと合同チームを編成して、毎年札幌で開催されるよさこいソーラン祭りに出場しています。





八幡神社

(相馬市観光協会提供)



相馬野馬追

(相馬市観光協会提供)



たこ八ほっきづくし

松川浦大橋

原釜尾浜海水浴場

(相馬市観光協会提供)

相馬野馬追は、相馬氏の祖・平将門が行った原野の馬を捕らえる軍事訓練と、その馬を神前に奉納したことを由来としています。史跡中村城跡での総大将の出陣式を皮切りに、500余騎の騎馬武者が3日間にわたり戦国時代絵巻を繰り広げます。壮麗な「お行列」、花火で上空に打ち上げた御神旗を騎馬武者たちが争奪する「神旗争奪」の熱戦、甲冑姿の若武者による「甲冑競馬」など多くの見どころが満載で、毎年全国各地から多くの観光客が訪れています。

## 【福島県相馬市】

福島県相馬市は県の東北端に位置し、西に阿武隈山地、東は太平洋を臨む自然に恵まれたまちです。JR常磐線と国道6号線が南北に走り、古くから福島県の沿岸地域における交通の要衝、また文化の中心としても栄えてきました。こうした地勢や資源を生かした農業、水産業、観光がさかんなほか、工業の分野でも、重要港湾相馬港を拠点とする相馬中核工業団地（総計632・5ヘクタール）を造成し、優良企業の立地促進などを進めています。

自然豊かな相馬市では、海の幸、山の幸を四季を通じて食することができます。

相馬沖合海域では、冷たい「親潮（千島海流）」と温かい「黒潮（日本海流）」が交じり合う好漁場が形成されるため、とりわけ水産物は豊富な水揚げを誇り、新鮮な

海の幸やそれを使用した海鮮加工品が豊富です。また、それ以外にも農林水産大臣賞を受賞した醤油や国際コンクールで金賞を受賞した米、黒毛和牛の「相馬牛」など、多くの美味が揃っています。

国の重要無形民俗文化財の相馬野馬追は、一千余年の歴史を誇り、史跡中村城跡での総大将の出陣式を皮切りに、約500余騎の騎馬武者が戦国時代絵巻を繰りひろげる伝統行事で、毎年全国各地から多くの観光客が訪れています。また、相馬市の沿岸部にある松川浦県立自然公園は日本百景の一つにも選ばれており、風光明媚な佇まいが松島に似ていることから「小松島」と呼ばれ、朝日と夕日の両方が同じ場所で見られるスポットもあり、多くの観光客が訪れています。

稲城市とは、東日本大震災の復興・復興支援で交流を深めてきた関係から、平成27年に友好都市協定を締結しました。

## 【長野県野沢温泉村】

野沢温泉村は古くから温泉地として栄えていました。大正12年の飯山鉄道の桑名川までの開通、大正14年の長野電鉄の屋代・木島間の開通など村までのアクセスの改善を背景に、数々のスキー競技会の開催などにより、野沢温泉スキー場は着実に発展を遂げてきました。

昭和38年にはスキー場が施設を含めてすべて村営となり、住民と行政とが一体となった観光地開発が進み、一層の充実が図られてきました。

また、昭和46年2月にはオーストリアのサン・アントン村と姉妹村提携が行われ、以来、スキー教師交換交流、村民交流が行われ、国際親善に役立ってきました。

平成10年には長野五輪の会場の一つに野沢温泉スキー場が選ばれて、世界的に野沢温泉の名前が広

がりました。それに伴い、上信越自動車道 豊田飯山IC、北陸新幹線が飯山市まで開通して首都圏、名古屋圏等外部へのアクセスの便が飛躍的に良くなり、居住空間及び生産活動における立地条件の改善が図られています。

稲城市と野沢温泉村とは、平成17年に「あつまれ稲城っ子！野沢温泉塾」開講の調印を行い、市立小中学校の夏季及び冬季の体験学習を受け入れ、10年間にわたり教育分野での交流を続けてきました。その後、平成20年に、災害時等相互応援協定を締結し、交流が深まる中、住民の間に芽生えた友情を大切に、相互理解や信頼関係を深めるため、平成27年11月17日に友好都市協定が結ばれました。

これからも稲城市の子どもたちが野沢温泉村の自然に触れ、住民の皆さんとの暖かい交流を通して、良い思い出をたくさん作ってほしいと思います。



冬のスキー場と樹氷

(野沢温泉村観光協会)



大湯

(野沢温泉村観光協会)



野沢温泉村は長野県の雄大な山々を活かしたスキーと、古くから知られる野沢温泉が広く著名な街です。市内には大湯など数多くの公衆浴場が設置されており、冬の湯治は特に情緒が感じられます。稲城市とは古くから姉妹都市交流が盛んで、スキー合宿や災害連携がなされています。



(野沢温泉村観光協会)

# 【アメリカ合衆国 フォスターシティ 市】

サンフランシスコ湾に位置する、1971年4月1日に設立された計画都市であり、『T・ジャック・フォスター』によって計画・建設されたのが市名の由来です。自然を生かし、水辺を工夫し、美しいウォーターフロント都市として開発されました。湿地をうまく利用して、湖や水路を改良整備し、ショッピング施設にも小舟の為に船着き場を作るなど、水辺と共生する郊外型ニュータウンとなっており、ベイエリアにはIT企業や日系企業の駐在員が住む高級住宅街が立ち並んでいます。古い建物は再開発され、新しい街に生まれ変わっていて、スポーツと教育に熱心な市でもあります。

海外姉妹都市の候補地については、稲城市に相応しい都市を選定

するため、様々な観点からゼロベースでの議論を重ねてまいりました。

その結果、候補地選定の観点として、「青少年の健全育成ができる」ところ」「教育交流ができる」ところ」「スポーツ交流ができる」ところ」「文化交流ができる」ところ」「英語圏である」ところ」「都市の規模が稲城市と似ている」ところ」「距離が近い」ところ」「治安が良い」ところ」という意見が多くあり、それを参考に候補地の選定を行いました。

具体的な候補地については、過去に交流実績のあった都市を中心に、21の都市を挙げ、前記の観点を中心に絞り込みました。最終的には、前記の観点に合致し、先方で稲城市との姉妹都市提携の希望があったことから、アメリカ合衆国のカリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市を海外姉妹都市の候補地として絞り込みまし

た。平成29年1月11日から14日までの日程で現地視察を行い、フォスターシティ市が海外姉妹都市として相応しい都市であることを確認しました。

フォスターシティ市は、サンフランシスコ空港から約10km圏内にあり、サンフランシスコ・羽田間には直行便も就航していることから、渡航の利便性も良好です。また繁華街やダウンタウンなどがなく、全米でもベスト8に選ばれるほど安全な街であり、さらに白人45%、アジア人45%という人種構成から、日本に対するイメージも良好で、海外姉妹都市提携を進める上では、子どもから大人まで、安心して交流を行うことができる街です。

人口が3万人程度であり、お互いを理解するためにも、交流相手として適度な規模となっていています。さらに、市制施行が稲城市と同じ1971年（昭和46年）であ

り、ベッドタウンであること、水を活かした街づくりをしていることなど、稲城市との共通点も数多くあります。またフォスターシティ市は、青少年のスポーツ部門に大変力を入れており、市内の公園には、多くの野球場やサッカー場も整備されています。そのため、少年野球の交流をはじめ、様々なスポーツ交流を実施するための施設が充実しています。さらに、中学校では、インターネットやスカイプを活用した交流をはじめ、グリーティングカードなどの手紙交換や青少年の交換派遣など、様々な交流へと発展させていく可能性も持っています。

以上のことから、フォスターシティ市と姉妹都市を結んだことで、幅広い住民同士の交流が可能となり、新たな出会いや友情の輪を広げ新しい文化が創造されていくこと等、夢はふくらみます。



フォスターシティは自然を活かし、水辺を工夫した美しい計画として開発されました。

